

本巢の「お互い様隊」出発

被災地に支援物資

富有柿やハツシモ満載

本巢市の市民ボランティア団体「お互い様隊」は14日、同市特産の富有柿や米「ハツシモ」などを東日本大震災の被災地の宮城県石巻市と女川町に届けるため、2泊3日の日程で本巢市を出発した。

両市町への訪問は、2回目。お互い様隊長で本巢市内でタイヤショップを経営する鏑本雅巳さん(33)が、石巻市在住の知人から食料不足の現状を聞いたのがきっかけ。今回届けるのは富有柿5トとハツシモ4トで、地元農家や農協、市商工会などの協力が集まった。鏑本さんら13人が、石巻市と女川町の仮設住宅35力所を回って届ける。

13日に本巢市役所駐車場で行われた出発式には、大勢の市民が見送りに集まった。鏑本

さんは「今なお復興が進んでいない地域もあり、仮設住宅の食料不足は解消されていない。皆さんの温かい心を届けてきます」とあいさつした。

(瀬見井芳信)



東日本大震災の被災地に向けて出発するお互い様隊のメンバーら一本巢市役所駐車場